



元気いっぱい、笑顔いっぱい、活力みなぎる 朝二の子

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL 048-461-0042 FAX 048-467-4735

E-mail 2shou@asaka-c.ed.jp ホームページ <http://www.asakadai2shou.city-asaka.ed.jp>

令和3年8月30日〈8・9月号〉 児童数 719名 (8/27現在)

子供を守り、成長を支える

- 2学期のスタートに当たって -
校長 谷井 喜信

長かった夏休みが明け、本日から2学期が始まります。正門には、ひまわり
に代わってコスモスが子供達を迎えてくれています。

緊急事態宣言が9月12日まで発令され、新型コロナウイルスの「第5波」
で10代の感染者が急増しています。このような状況を鑑み、朝霞市内の小中
学校では、感染症拡大防止と児童生徒の学びの継続を両立するための対応を進
めてまいります。8月27日の学校メールで、学期始めの概要を事前にお知ら
せしたところですが、本日配布する文書(「夏季休業期間終了後の小中学校の
新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について」「小学校1～3年生を対象
とした児童の学校の受け入れについて」「学校における濃厚接触者の判断について(お知らせ)」)をご
覧いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。本校におきましても、県の感染症
対策ガイドラインに基づき、「学校での過ごし方 with コロナ」を見直して共通指導するとともに、こ
れまでご協力いただいております「健康チェックシート」の方法等についても、改善を進めてまいり
ます。詳細は本日発行の「ほけんだより」等でご確認いただければと思います。



【読書に親しむ子供達】

夏休み中の7月26日から30日までの5日間、子供の学ぶ意欲や自主性を育み、学力の向上を図
ることを目的に、「夏休みちやれんじスタディ in 二小」を実施しました。実施に向けて地域連携推進
委員会で検討を重ね、今回はコロナ禍の状況を踏まえ、3・4年生を対象としました。5日間の延べ
人数は児童336人、朝霞ぐらんぱの会・学校応援団・保護者・学生・教員は119人と多くの参加、
ご協力をいただきました。ありがとうございました。

さて、2学期のスタートにあたり、お子様の中には、久しぶりの登校に不安を感じていたり、生活
リズムの乱れや睡眠不足などにより体に不調を感じたりする場合があります。学期始めは、ご家庭で
もお子様の様子をよく観察していただき、少しでも不安な様子が見られたら、できる限りお子様に寄
り添いながら話を聴いてあげてください。もし、心配な様子が見られたら、遠慮なく学校にご相談く
ださい。ご参考までに、書籍やテレビなど多数のメディアで活躍中の一般社団法人全国心理業連合会
代表理事 浮世満理子 氏の記事が新聞に掲載されておりましたのでご紹介いたします。

「悩み抱える子供を守り、成長支えて」 (日本教育新聞「人づくり 国づくり」より R3.8.23)

夏休み明けのカウンセリング件数は膨大です。近年はLINEを使ったチャット形式のカウンセリングとしてSNS相談が
圧倒的に増えました。SNSの匿名性からか深刻な悩みの声が多く寄せられます。(中略) 子供は電話や対面だと
なかなか本音を話せるものではありません。顔が見える状態は心理的な安全性を損なうためです。表面的に取り繕
い、嫌なことを嫌と言えない子供は増えています。ほとんどの相談内容は「生きづらさ」です。多くの子供は学校で仲
間外れにされないように、良い子で頑張る自分を演じているようです。いじめではないため学校の先生も気付きにくい
と思います。また、親の過度な期待や気遣いも生きづらさの理由に挙がっています。「この子は、できる子なんです」の
一言が子供の負担になります。また子供に何か不都合なことをしてしまうと、すぐに謝るというのも良くありません。ス
トレス耐性を下げてしまうからです。理不尽に慣れる練習も必要です。理不尽に慣れていない子供は友人関係などで
トラブルになると、問題と向き合うことから目を背けてしまいがちです。悩みを持つ子供にとって、夏休みは問題を先延
ばしにしている期間です。報道では長期休み明けの不登校や自殺の問題が注目されますが、夏休みだからという
のは少し違います。過ごし方が変わるよう背中を押してみてください。ボランティアなどに参加し、人に喜びを与えること、
何かに役立っていることを経験させるだけでもずいぶん違います。学校や自宅、ネットでは得られない新たな友達やコ
ミュニティーとリアルにつながることで、子供に一步踏み出す勇気を与えます。先生方には、悩みを抱えている子供を守
るというスタンスで自分の仕事に臨んでもらいたいです。相談を受けたら、問題を解決することよりも、その子の成長を
前進させることを意識してみてください。カウンセリングや教育には0点も100点もありません。「守ってあげる」の一言を
子供たちに投げ掛けてもらえればと思います。

たくさんのドラマを生んだ東京オリンピック競技大会が閉幕し、今は東京パラリンピックが開催中
です。この夏休み、テレビ画面で各選手の活躍を応援した子供達。きっと、一流アスリートの姿から
多くのことを学んだことと思います。夢の舞台に向けてのたゆまない努力とあきらめない強い気持ち、
自分を支えてくれた全ての人たちへの感謝、各国の選手を温かく迎えたホストタウンの方々や大会ボ
ランティアのおもてなしの心など、2学期からの生活の励みにしてほしいと願っています。